

平成29年度 JABTS 事業活動報告

1 編集委員会 尾本きよか

平成29年度は、学会誌出版に向け、委員会を開催し9月に第6巻3号を発行した。

今まで学会誌発刊作業に携わっていたインターメルクが編集することが困難になったため、改めて見直した。業者選定の検討の結果、平成30年度分までの学会誌発行については、神谷印刷株式会社と契約をした。

平成30年1月には、第7巻1号を発行した。

2 財務委員会 矢形 寛
なし

3 教育委員会 田中久美子

2017.5.27 JABTS38教育委員会企画「HER2陽性乳癌」

2017.7.14 乳癌学会インターベンションハンズオンセミナー開催

2017.9.22 JABTS39教育委員会企画「US画像上良悪性判定がまざらわしい病変」

2017.10.25 日本甲状腺外科学会でハンズオンセミナー開催

2017.11.11 日本乳がん検診学会で教育セミナー「検診精査時に役立つカラードプラとエラストグラフィの使い方」

2017.11.24日本臨床外科学会総会でインターベンションハンズオンセミナー開催

4 広報委員会 橋本 政典

- ・学会誌のPDF版の掲載
- ・学術集会の終了処理など
- ・新理事など更新・役員一覧の改訂
- ・古くなったパンナー・学術集会のリンク切れの修正
- ・委員会・研究部会と責任者更新
- ・平成28年度活動報告UP
- ・メーリングリストのUMIN移行

5 会則委員会 古川まどか

1. NPO関係法令の改正に伴い、JABTS定款内関連箇所の内容および文言の変更に関して、委員会内で検討を行い理事会に提出した。

2. 理事長より提案があったJABTSの一般社団法人化に向けて、調査を開始した。

6 国際委員会 東野英利子

1. JABTS38国際委員会企画として下記の国際シンポジウムを開催した。

“Comparison of thyroid nodule US guidelines among Asian

countries”

演者 Dr. Dong Gyu Na(Human Medical Imaging and Intervention Center, 韓国)

福島光浩(隈病院, 日本)

志村浩己(福島県立医科大学, 日本)

2. モンゴルとの交流

Mongolian Society of Diagnostic Ultrasound annual workshop July 27-28, 2017に委員および協力者併せて3名を派遣し、Symposium on Breast Ultrasoundで下記の発表を行った。

Breast Cancer Screening, Japanese Stand Point - Including J-START Result

獨協医科大学超音波センター・那須赤十字病院 高田悦雄

Breast Ultrasound - A Role of Sonographer

相良病院 高木理恵

Breast Ultrasound - It's Clinical Use

済生会松阪総合病院 柏倉由実

3. JABTS39で国際委員会企画としてモンゴルとの交流について上記3名からの報告を行った。

4. 精中機構の超音波講習会の講習資料(元々はJABTSで作成)の英訳を行った。

7 乳腺用語診断基準委員会 加奥 節子

・BC-04(乳房超音波カラードプラ法の診断基準構築と標準化に関する多施設共同研究)の結果を2017年10月のWFUMB(Taipei)で、加奥、渡辺、安田、奥野、東野の各委員から5題(全て口演)発表した。データセンター八重樫氏からも1題(口演)発表頂いた。東野委員、八重樫氏の演題が厳選口演の賞に選ばれた。

・BC-02(非浸潤性乳管癌(DCIS)の超音波画像分類に関する多施設共同研究)に使用した画像を乳房超音波画像診断アトラス(仮称)の形で出版することになった。WFUMB 2015でこのデータを発表した委員中心に、現在画像選定から執筆に進行中である。

・乳房超音波診断ガイドライン(南江堂)の軽微な修正を行った。第3版第5刷として近日出版予定である。

8 甲状腺用語診断基準委員会 村上 司

1. 甲状腺超音波ガイドブック4版への改訂作業計画

2. TC-01 甲状腺結節に対するドプラエコーの有用性についての前向き試験に向けて

3. 福島県「県民健康調査」の甲状腺超音波検査への支援

4. 福島県医師会による超音波講習会および認定試験への支援

5. 第50回日本甲状腺外科学会での甲状腺エコーハンズオン

セミナーへの支援(2017年10月25日, 福島市), 教育委員会との合同企画

6. 今期末をもって, 3名(小林薫先生, 鈴木尚宜先生, 宮部理香先生)が委員退任となった。

9 | 倫理委員会 梅本 剛
理事会からの審議事項がなく, 活動はなかった。

10 | 利益相反委員会 志村 浩己
1)「学術集会」の演者,「機関誌」の著者については, 特に違反の報告はなかった。

2)「役員等の利益相反自己申告書」は, 114名中61名から提出があった。

3)「役員等の利益相反自己申告書」提出者の中で, COIの申告があった2名については, その状態の判断ならびに助言, 指導のため, 個人情報の保護に留意し, 委員長と委員のダブルチェックで内容を確認した(第39回学術総会時に実施)。その結果, 特に問題となる事例はなかった。

11 | 学術委員会 矢形 寛

1)平成29年度研究部会の活動報告, 平成30年度研究部会事業計画, 平成30年度予算要求書の承認と修正依頼

2)研究部会の研究2年終了後の継続申請について
研究継続必要性の目的, 理由, 計画終了の見込みなどについて記載が必要

3)研究は1つにつき1つの研究部会として新規申請が必要

4)精度管理ファントムの帰属先…学会の所有物であり, 貸出先につき帳簿を作成

5)研究部会で購入する物品の適正な価格設定…データ保存用HDDやUSBは現在かなり安価

6)研究部会による研究終了後論文化されない場合, 新規研究は認めない, あるいは研究部会への加入を認めないなどの罰則規定を検討

7)精中機構の超音波講習会講義資料の英訳版について
JABTSの費用で英訳していることから, 英訳版はJABTS自体の所有物となり, 精中機構が英訳版の使用や修正を行う場合には, JABTSの許可が必要。内容を大幅に変えたり, 別組織での費用負担を考える場合には, その都度学術委員会で審議

8)JABTSと東北大学データセンターとの契約に関して

タイトル「JABTS乳房超音波診断に関する他施設共同研究」未払い1年分の支払い, 更新契約1年分の支払い

データセンターを使用する複数の研究における予算の計上

12 | 甲状腺結節D/W研究部会 福成 信博

平成29年は, 参加施設における甲状腺結節D/W測定検体の測定, データ集積に終始した。

各施設において測定時に検討され, 注意喚起された点は以下

下の通り

1)縦隔内結節の測定方法, 斜め方向の断面の取り扱い

2)部分的にのう胞変化がある場合の取り扱い

3)検査時にプローブで圧迫した際の組織のひずみ, D/Wへの影響

いずれも, 前回JABTS開催時およびメールにて審議され, 一定の方向性が定められた。D/W>1.0横断像のみでその感度, 特異度を組織型, 腫瘍径別に調べることとなった。

また, 有用性が確認できれば, 診断基準の新たな項目として追加する予定であり, 来年のデータ解析, 論文作成に取り組むことになる。

13 | 乳がん検診研究部会 坂 佳奈子

1. JABTS38において「乳房用自動超音波画像診断装置の検診における展望」というタイトルで乳がん検診研究部会として自動超音波装置の現状について株式会社日立製作所, GEヘルスケア・ジャパン株式会社, シーメンスヘルスケア株式会社の3社のプレゼンテーションとして乳がん検診研究部会企画を行った。

2. JABTS38において「乳房超音波検診においてカラードブラを使う? 使わない?」というテーマで東野英利子部会員, 加奥節子部会員を座長として乳がん検診研究部会企画を行った。

3. 検診フローチャートの検証というテーマでJABTS35にてシンポジウムを行ったが, その際に発表した5施設のデータをまとめて日本超音波医学会の英文版に投稿し, タイトル Verification of recall criteria for masses detected on ultrasound breast cancer screening として, 2017年2月25日にオンラインで掲載された。

4. 超音波検診の実態調査を日本乳がん検診精度管理中央機構と合同で, 2016年2月~3月にかけて行い, JABTS37川越にて発表した。その結果を2017年10月14日~17日に台湾で行われたWFUMBにて発表した。

A Questionnaire Survey on Working Environments for Sonographers Engaged in Breast Ultrasonographic Screening in Japan

またその内容について, 乳がん検診研究部会報告として現在, JABTS学会誌に投稿中である(2018年1月掲載予定)。

5. 2017年10月14日~17日に台湾で行われたWFUMBにて角田博子部会員が上記3の内容を基にVerification of recall criteria for masses detected on ultrasound breast cancer screening という演題名で招待講演を行った。

14 | インターベンション研究部会 矢形 寛

2016年11月にインターベンション研究部会より刊行した「乳房超音波ガイド下針生検マニュアル」を十分に普及させるため, 5月, 9月の各学術集会で, 内容の紹介を行った。また,

今後日本乳癌学会教育研修委員会を中心としてインターベンション講習会を行っていくにあたり、乳癌学会理事に本書を配布し、内容の確認を依頼した。9月の学術集会では、スポンサードセミナーとして、乳房内留置用組織マーカーの紹介を2企業より行ってもらった。

15 | バーチャルソノグラフィ研究部会 明石 定子

1) FUSION01報告

症例登録を完遂したFUSION 01試験結果をヨーロッパ放射線医学会2017年3月(口演)、および第25回乳癌学会で中野正吾先生が発表した。英語論文も現在作成中である。

2) FUSION 02企画および班会議の開催

JABTS38, 39回開催に合わせて、Fusion 02につき討議を重ね、non-mass enhancementに対するRVSを行うこととなった。現在プロトコルfix作業中である。

16 | フローイメージング研究部会 平井都始子

1. 造影超音波を用いた乳房病変の造影パターンについての検討

・乳房病変に対する造影超音波について、造影パターンの視覚評価基準の作成と良悪性の鑑別診断における感度・特異度・正診率および確信度を明らかにする目的で、多施設共同研究を開始した。220症例がエントリーされ、典型画像を選択するため30症例を6施設の医師、技師でブラインドリーディングを実施した。

・JABTS39のワークショップ「何が染まっているの？ 造影超音波画像と病理を対比してみよう！」において、ブラインドリーディングの結果を造影パターンと病理像を対比して報告した。

・JABTS37のワークショップ「まずは見てみよう！ 造影超音波検査(良悪性鑑別編)」の内容が乳腺甲状腺超音波医学Vol.6, No.3に掲載された。

2. JABTS34, 35で報告した、2015年乳房造影超音波検査アンケート調査結果を乳腺甲状腺超音波医学に投稿した。

3. 皮膚・皮下腫瘍のフローイメージングの研究を多施設で開始するための準備をした。

17 | エラストグラフィ研究部会 椎名 毅

1) 第38回JABTSで、エラストグラフィ診断法の教育や精度管理の視点で、第2回目「超音波エラストグラフィQ&A」を企画した。事前にホームページで質問を募り、集まった5件について、総会にて解説のプレゼンテーションと質疑応答を行った。

2) JABTS学術集会の会期中に、以下の2回の研究部会を開催し、事業計画の進捗状況の確認と、今後の方針について協議した。

第1回研究部会：5月27日(土)8:00-8:50 於ホテルニュー

イタヤ

第2回研究部会：9月23日(土)7:45-8:45 於大宮ソニックシティビル棟

出席者：

椎名 毅, 中島一毅, 伊藤吾子, 植野 映, 梅本 剛, 榎戸克年, 遠藤登喜子, 高田悦雄, 角田博子, 桜井正児

検討内容

1. ガイドラインの改訂編纂の見直し

装置の進歩などでガイドライン改訂の必要性があるが、以下のような状況を考慮すると、もう少し先でも良いと思われる。

・ 前回の場合は、日本超音波医学会との連携で経費的に余裕があり、頁数の多いものができたが、今回はJABTS単独での出版になるので簡便なものになる。

・ 全ての機種について詳細に記載するのではなく、各機種の利用状況を把握してメリハリをつけるのが良いと思われるが、実際には正確な調査は難しい。

2. エラストグラフィの精度管理に関するテーマでシンポジウムの企画

・ 肝臓のSWEで行っているように、ファントムで機種間比較をするのも考えられる。ただし、病態を再現できる腫瘍のファントムの問題がある。

・ 企業に、各社のエラストグラフィの特徴をはなしてもらおうスポンサードセッションを企画してはどうか。その際に、標準ファントムを研究部会で作成し、その画像を表示してもらおうなど、JABTS40に向けて検討を進める。

18 | 精度管理ファントム研究部会 桜井 正児

1. 改良を加えた精度管理用ファントムが完成した。

2. 完成したファントムを部員6施設で検討した。

3. 2017年6月から岐阜医療科学大学の篠原範充先生によるファントム画像のデジタル評価が開始した。

・ 解析対象は毎月、月末の画像

・ 解析項目：ターゲットとバックグラウンド解析

4. 故障プローブ含めた様々なプローブで撮像したファントム画像を用いて、デジタル評価の有用性の検証を行った。

5. 画像劣化の事例の蓄積を行った。

19 | 乳房造影超音波における乳がんの広がり診断に関する研究部会 奥野 敏隆

1. Evergreen Study参加施設の院内倫理委員会で承認を得た。2017年5月27日(土)(第38回JABTSの会期中)にキックオフミーティングを行った。

2. 11月2日と11月8日にSkype上で登録症例に関する質疑応答など、ミーティングを行った。

3. 現在、症例登録を開始し、現在も集積中である。第40回JABTSに会期中に登録症例について検討会を行う予定である。

- 20 リンパ節診断研究部会 古川まどか
1. リンパ節診断研究部会は、新規研究部会として平成29年度途中で発足を認められ活動を開始した。
 2. リンパ節の超音波診断にかかわる基本的事項として、リンパ節の計測方法と計測部位の名称に関する検討を行った(JABTS38シンポジウムにて概要を報告した)。
 3. JABTS会員がリンパ節の超音波診断を行う上で重要な

基本的事項が理解できるように、JABTS39にて、岩手医科大学付属病院病理診断科 石田和之先生によるリンパ節の病理診断に関する教育講演を企画した。

4. JABTS39にて、甲状腺癌のリンパ節転移に関するシンポジウムを甲状腺用語診断基準委員会と共同で企画し、甲状腺癌リンパ節転移診断における超音波診断の有効活用および将来的な展望について討論を行った。